



# 宮床中だより 「ささくら」

学校教育目標  
「豊かな心を持ち、自ら学び共に高め合う生徒の育成」

【第13号】 1月10日(水)発行

大和町立宮床中学校  
電話:(346)2006

## 平成29年度 締めくくりの3学期がスタートしました!

1月9日(火)から始まった平成29年度第3学期は、生徒にとって1年間のまとめの学期であるとともに、進級・進学への準備の学期でもあります。生徒には、新年を迎え「心に期すること」や「今年目標として掲げたこと」などを実現できるように、着実に一歩ずつ歩いてほしいと思います。また、私たち教職員も、生徒一人一人の成長のために、指導・支援に努めてまいりますので、これまでと同様に、ご理解やご協力を賜りますようお願いいたします。

### [1/9 第3学期終業式 校長式辞より]

みなさん、あけましておめでとうございます。

平成30年という新しい年を迎えましたが、学校においてはまとめの3学期のスタートということになります。自分自身を、そして学校をより良い方向に「変化」させるため、最後まで何事にも「本気」で取り組み、それぞれの学年をしっかりと締めくくってほしいと願っています。

今日はまず「アフガニスタン紛争」の時の話をします。

1979年、アフガニスタンはソビエト連邦(今のロシア)軍の侵攻を受け、市民たちは毎日、頭上を弾丸が飛び交う恐怖にさらされていました。もちろん子供たちも同じで、明日銃弾に倒れるかもしれない、そんな状況にありました。そのような中、海外の報道記者が子供たちに「今、一番望んでいることは何?」と尋ねました。テレビを見ている多くの人々は「早く戦争が終わってほしい」「平和な世の中になってほしい」「おなか一杯食事をしたい」こんな答えが返ってくると思っていました。しかし、返ってきたのは…?皆口々に「学校に行きたい。学校で友達と楽しく勉強がしたい」と答えたのです。

「学校は楽しい所であればならない」この意見を否定する人は誰一人いないと思います。でも、この「楽しい」は一人が楽しい、グループの数人が楽しいという意味ではなく、自分に笑顔があり、グループの仲間に笑顔があり、学級・学年に笑顔があり、学校全体に笑顔があることを意味しています。「学校に通える」という当たり前に感謝し、真に楽しい宮床中学校をつくらうとした時、皆さんにはどのような言動が求められるのでしょうか?

ここで、もう一つの話をして。「なぜ、ガンはV字編隊で飛ぶのか?」という話です。知っている人がいるかもしれませんが、少し付き合ってください。

渡り鳥であるガンの旅はとても長いので、できるだけ疲れない飛び方をしなくてはなりません。隊列を組んで飛ぶ時、先頭のガンが羽ばたくと、その後ろには上昇気流が生じるので、続く二羽のガンはその気流を利用して、少ないエネルギーで飛ぶことができます。そして、その後ろのガンはもっと楽に飛ぶことができます。だから、ガンはV字の隊列で飛びます。でも、先頭のガンにはそうした効果はないので、ある程度飛ぶと疲れてしまいます。その時、先頭のガンは隊列を離れ、楽な一番後ろに回り、他のガンが一つずつ前に詰めていきます。新たに先頭を務めたガンはエネルギーが余っているので、力強く飛ぶことができます。この方法で飛ぶと、単独で飛ぶよりも飛行距離を70%も伸ばせるとのことです。しかも、疲れている前を飛ぶガンを鳴いて励ますこともするし、一羽が隊列から脱落すると二羽が隊列からはずれサポートし、隊列に戻るまで付きっきりになるのだそうです。

生徒のみなさん、いかがですか。このガンのV字編隊、「認め合い」「助け合い」「励まし合い」「いたわり合い」ながら長旅という大きな目標を達成する姿に、楽しい宮床中学校をつくるヒントがあるように、私には感じられます。くしくも今年度の生徒会スローガンは「飛べ〜希望という名の翼を持って〜」です。ここにいる生徒全員が、高校や一つ上の学年という新しいステージへと、最高の笑顔で飛び立つ。そのためにはこの3学期を楽しい日々にする必要があります。そのことを期待して、式辞とします。



始業式において3学期の抱負を発表した生徒です。(左から) 1年代表 2年代表 3年代表 生徒会代表